

倉庫業パートナーシップ & 戦略物流システムO・ASSIST

倉庫業特有の再保の仕組みと、
SAAS 型物流システムで実現する
日本全国の国土交通大臣登録営業倉庫の
大規模な物流ネットワーク



オリソーグループの戦略的物流ソリューション

D N

Depot Network

なぜ今、Depot Networkなのか？

顧客納品のリードタイム短縮に
深刻化するトラック業界の人手不足問題に備えて

物流活動は、全ては顧客納品の為の活動です。

私たち総合物流業のオリソーグループは、荷主様の商品の、顧客納品に関わる全ての作業において、日々効率化の道を模索していますが、顧客納品のリードタイム短縮は、大きな課題の一つとなっています。

昨今、そのリードタイム短縮に大きな影響を与えるのが「輸・配送」の問題です。それは短縮するという課題以前に、そもそも「希望どおりの納期に荷物が届かない」という問題にも繋がりが

ねない状況となりつつあります。

近年、物流業界を騒がせた動きとして、運送会社の運賃一斉値上げの問題があります。正直なところ、各運送会社は現状の運賃では運営が成り立たなくなっているのが実情のようなのですが、その主な要因として燃料費の高騰などのコスト問題に加え、**深刻な人手不足に対応するための求人コスト**が大きな問題となっているのです。

大型トラックドライバーの
72.7%が40歳以上！

人員不足の要因

高齢ドライバーの増加

社会問題となっている少子高齢化に加え、若年者の意識の変化により、トラックドライバー、特に長距離の大型ドライバー不足が深刻となっています。今や若い世代には、トラックドライバーは魅力の薄い職種となってしまったのです。

さらに…

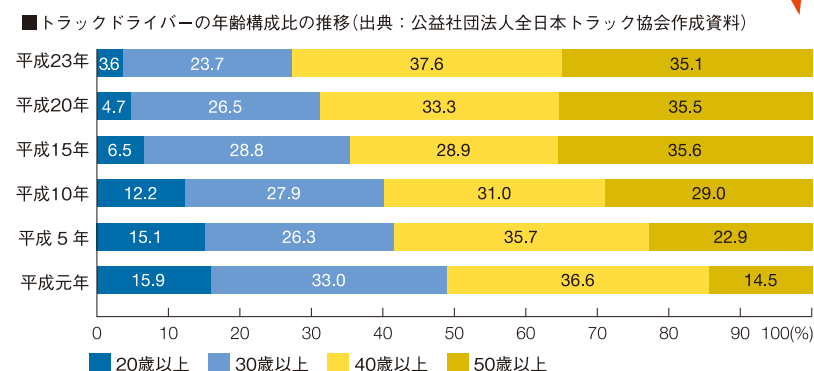
・監査、処分の厳格化

関越道高速ツアーバス事故等を受け、平成 25 年秋より、運送事業者に対する監査方針・行政処分等の基準が厳格化しました。それを受け、運送事業者は労働時間の設定にデリケートにならざるを得ない状況です。

・自動車運送事業の監査方針の改正／平成25年10月1日施行
・行政処分等の基準改正／平成25年11月1日施行

・免許制度の変更

平成 19 年、「中型免許」が追加、普通免許で運転できる範囲が縮小し、普通免許しか取得できない高卒直後のドライバーの勤務や採用に制約がかかっています。



モノが当たり前前に届いていた時代から、長距離輸・配送の納期が担保できない時代の到来に向けて
お客様の商売に「物流サービス」という付加価値を創造するチャンス！

Depot Networkが解決！

拠点集約ではなく 拠点分散という選択

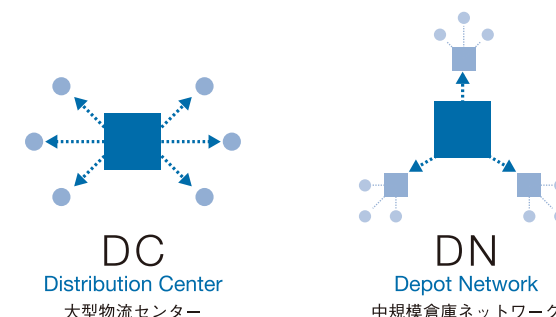
DN の仕組み

DN (DepotNetwork) とは、倉庫業特有の『再保管』の仕組みと、**SAAS 型物流システム**を利用することにより実現する、お客様の貨物専用の大規模な物流ネットワークです。

お客様の商品の最終出荷先から分析した、その地域でのポイントとなる場所に在庫を積むことで、**顧客納品のリードタイムが劇的に変わります。**

※再保管

倉庫業者が寄託者の承諾を得て寄託物の保管を他の倉庫業者に委託する仕組み。

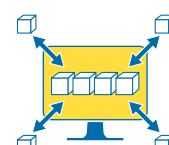


メリット



リードタイム短縮

主要な出荷先近くに在庫を準備しておくことで、受注当日配送だけでなく 3 ～ 4 時間後発送も可能に。



情報の一元化

全国にあるお客様の貨物の情報は、全て一つのシステムで管理され、お客様の手元のパソコンまで繋がっていきます。



倉庫業のプロの仕事

パートナーとなる再保管先は、国土交通大臣の登録を受けた営業倉庫のみなので、入出荷・保管・配送は全て国交省お墨付きのプロの仕事で安心です。



お客様専用の物流網

さらに自社工場、仕入先倉庫や、お得意先様のシステムとのデータ連携も可能なので、お客様専用のトータルな物流ネットワーク構築が可能です。

今後の課題



安全在庫の積み増し

在庫を分散するということは、安全在庫も拠点特性に合わせて増加することにもなります。



保管コストの地域格差

首都圏と地方とでの保管料格差はますます広がる傾向に有り、物流拠点を首都圏付近に設けた場合は、保管料コストが増大するという問題があります。

これらの課題は、そもそも在庫を作り過ぎない、という生産管理に係る課題とも言えます。生産管理は出荷情報と同期することで精度が高まります。DN では、日々集まる各拠点の出荷情報や品番毎の在庫回転等の物流データを提供することで、この課題解決にも共に知恵を絞ります。

物流の未来は倉庫業ネットワークにあり！

DNを利用した 在庫分散型物流ネットワーク 構築の流れ

2 分析

お客様の現状の出荷データ(出荷計画)を頂き、重点法による拠点場所選定や、リードタイムとコストバランスを考慮した拠点数決定などの、分散型物流センター構築の手法を利用し、拠点数と地域を選定します。

お客様の
出荷データを
お預かりします。

1 契約

お客様とオリソーが
寄託契約を締結。

重点法について
詳しくは裏表紙を
御覧ください！

3 選択

全国数百社の国土交通省認可倉庫の中から、お客様の商品特性を鑑み最適の倉庫を選択。

国土交通省認可倉庫
なので安心！

4 再保管契約

オリソーと該当倉庫間で再保管契約を締結。
併せてロジストがO-ASSISTを導入。

6

サービス開始

お客様
O-LIVE



- ・在庫参照
- ・出荷オーダー
- ・各種データダウンロード
- ・入庫・出庫情報参照

オリソー
O-ASSIST



- ・在庫ロケーション管理
- ・オーダー処理
- ・入出荷業務
- ・伝票処理
- ・名義変更、棚卸など

各拠点
流通加工・配送



- ・流通加工
- ・ピッキング
- ・梱包、アソート
- ・運送便手配
- ・配送

5

物流網構築

お客様に合わせた
物流網の構築を
行います！



国内メーカー 一括輸送



輸入

乙仲倉庫 一括輸送



各拠点倉庫



路線便配送



各拠点倉庫



路線便配送



各拠点倉庫



路線便配送

DNを実現可能にする オリソーグループの物流システム

戦略物流システムO・LIVE & O・ASSIST

お客様 O・LIVE



O・LIVE で全国の各物流拠点の情報にアクセスできます。ソフトウェアのインストールは不要、お手持ちのパソコン、スマートフォンでいつでもどこでもアクセス可能です。

在庫参照

各拠点毎の在庫状況をリアルタイムで把握できます。

出荷オーダ

各拠点の在庫状況を確認しながら、オンラインでオーダ。

入庫・出庫情報参照

出荷した運送便の問合せ No. も確認できます。

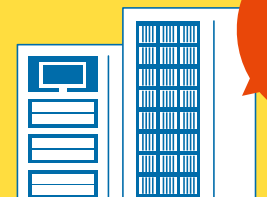
各種データダウンロード

エクセルでの管理資料作成や、お客様のシステムへの CSV データ連携にも利用できます。

データセンター

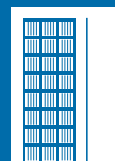


株式会社 日立システムズ



耐震・無停電・
指紋認証
セキュリティ

「戦略物流システム」は、株式会社日立システムズ様を通してサービス提供いたします。
<http://www.hitachi-systems.com/area/kansai/solution/logistics/>



顧客 EDI

お得意先様、
お取引先様との
データ交換も可能です。

パートナー倉庫

オリソー

O・ASSIST

・在庫ロケーション管理 ・オーダー処理 ・入出荷業務 ・伝票処理 ・名義変更、棚卸など



物流拠点 A

・流通加工
・ピッキング
・梱包、アソート
・運送便手配



物流拠点 B

・流通加工
・ピッキング
・梱包、アソート
・運送便手配



物流拠点 C

・流通加工
・ピッキング
・梱包、アソート
・運送便手配



DN 業務部門

お客様からのオーダー受付、
お問い合わせ等はオリソーが
一括してお引き受けいたします。

History

倉庫業のプロだから得られる安心

オリソーグループ

- 1962.10 京都織物包装株式会社 創業
- 1967.10 倉庫部発足
- 1972.11 運輸部発足
- 1973.10 横大路営業所開設
- 1973.10 社名京都織物包装株式会社を株式会社オリソーと変更
- 1977.07 倉庫証券発行許可（運輸省許可番号港倉第60号）
- 1983.02 愛知川営業所開設
- 1987.11 名古屋営業所開設
- 1989.07 オリソー運輸部が分離独立し、オリソー物流株式会社となる。
- 1989.09 久御山営業所開設
- 1991.08 久御山北営業所開設
- 1996.05 横大路物流センター開設
- 1998.06 久御山北営業所危険品倉庫新設
- 1999.08 ISO9002 認証取得
- 2001.04 戦略物流システムO・LIVE（オー・ライブ）スタート
- 2001.06 認可倉庫1 万坪達成
- 2001.07 戦略物流システムO・ASSIST（オー・アシスト）スタート
- 2003.09 ISO9001:2000 認証取得
- 2007.11 久御山営業所 グリーン経営認証取得
登録番号：W260010
- 2008.10 システム部門が分離独立し、株式会社ロジストとなる。
- 2009.06 ISO9001：2008認証取得



物流センター機能



バーコード管理



反物管理



危険品倉庫



流通加工



トランクルーム



輸出梱包



スリットリワインド加工

Company

会社概要

株式会社オリソー 昭和37年10月25日 設立

- 1. 本社
- 2. 横大路営業所
- 3. 愛知川営業所
- 4. 名古屋営業所
- 5. 久御山営業所
- 6. 久御山北営業所
- 7. 横大路物流センター

住 所 [本社]〒615-0834 京都市右京区西京極殿田町5番地
TEL (075) 313-2311 (代)

資本金 50,000,000円
事業内容 倉庫業（運輸省許可番号港倉第72号）
倉庫証券発行（運輸省許可番号港倉第60号）
梱包業（輸出繊維製品の検査代行）
輸出向、内地向繊維製品の仕立て・包装及び梱包
運輸業、自動車運送取扱
情報処理、コンピュータシステム開発・販売



オリソー物流株式会社 昭和63年6月 設立

- 1. 本社
- 2. 本店
- 3. 名古屋支店

住 所 [本社]〒612-8244 京都市伏見区横大路千両松町134
TEL (075) 601-8244

[本店]京都市伏見区
[名古屋支店]愛知県春日井市
資本金 15,000,000円
事業内容 自動車運送取扱事業
近運貨第1818号京第348号（平成元年10月31日）
中運自貨取第130号（平成8年6月24日）
保管・梱包・荷造・積込等の管理・物流業務

株式会社ロジスト 平成20年10月 設立

住 所 〒615-0834 京都市右京区西京極殿田町9番地2
TEL (075) 313-2313

資本金 8,500,000円
事業内容 物流コンサルティング
コンピュータシステム開発・販売・保守
コンピュータ機器販売
ウェブサイト、ウェブアプリケーション製作
DM、カタログ、その他広告物製作

DN利用による拠点分散の一例

A社様の場合

現 状

- ・関西のB県に拠点を置くメーカー様。
- ・納品先は関東が大きな比率を占める。
- ・最近、九州方面の納品に遅延が発生している。

対 策

従来関西1拠点での運用であったが、さらに関東と九州地区に各1拠点を設けることを決定。前年度の出荷実績データより、**重点法による拠点を決定**する。

重点法による拠点決定とは

1. 拠点を決定するにあたって、大まかな地域分けをする。
2. 地域内の拠点候補地点を選定する。
(例：都道府県で選定し、各都道府県内で一番出荷量の多い市区郡を選定)
3. 拠点候補間の移動距離を調査。
4. 拠点候補毎の出荷量と距離を掛け、トンキロを算出。
5. トンキロの最も少ない(効率最大の)地点を拠点到設定。

シミュレーション

拠点選定と運賃比較

対象エリア／関東地区 拠点決定／重点法により、埼玉県A市を拠点とする。

従来の京都市からの発送

拠点候補	距離(km)	1件あたり重量(kg)	件数	運賃料率※	運賃(円)
埼玉県 A市	529	443.00	353	8,800	3,106,400
茨城県 B市	619	82.00	142	2,700	383,400
群馬県 C市	479	105.00	15	2,700	40,500
栃木県 D市	510	180.00	20	4,000	80,000
神奈川県 E市	467	110.00	150	2,700	405,000
東京都 F区	513	71.00	175	2,100	367,000
計			855		4,382,800

※運賃料率は昭和60年タリフ、中継料は考慮しないものとします。

埼玉県A市からの発送

拠点候補	距離(km)	1件あたり重量(kg)	件数	運賃料率※	運賃(円)
埼玉県 A市	50	443.00	353	4,200	1,482,600
茨城県 B市	90	82.00	142	1,600	227,200
群馬県 C市	99	105.00	15	1,700	25,500
栃木県 D市	82	180.00	20	2,300	46,000
神奈川県 E市	73	110.00	150	1,700	255,000
東京都 F区	44	71.00	175	1,400	245,000
計			855		2,281,300

工場及びオリソー本社から

埼玉県A市への10tチャーター便でのルート輸送

1,300,000

関東地区の拠点を設けることで年間438万円から350万円へコストダウンが実現！(九州も同様の手法で佐賀県G市を拠点到決定)
最大量の出荷先をいくつか抱える埼玉県内をルート配送にすることで、さらなるコストダウンも見込めます。

上記は、あくまで運賃メリットのみをシミュレーションした結果で、実際は関西と関東の保管料コストの違いや、拠点分散による安全在庫の積み増しコストの問題などで、コスト削減には更なる取り組みが必要かと思えます。

ただ、拠点分散することにより、**同等、もしくはそれ以下のコストで、本来物流業務が果たすべき『顧客納品のリードタイム短縮』は確実に実現いたします。**

株式会社オリソー
http://www.oriso.co.jp

〒615-0834 京都市右京区西京極殿田町5番地
Tel / 075-313-2311 Mail / info@oriso.co.jp